

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なで使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 BU-DRR603T	
S/No. _____	
お買い上げ日	____年 ____月 ____日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所 TEL ()	様
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

＜無料修理規定＞

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書の注意書に従った正常なで使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居で贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

カメラ一体型ドライブレコーダー

BU-DRR603T

取扱説明書

12V、24V車対応

このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、連続した録画記録や、万一の事故発生時に映像を最大30秒間記録します。

注意

電源が ON の状態で SD カードの抜き差しを行わないでください。SD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、SD カードの抜き差しを行ってください。



目次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
GPS 測位機能について	6
各部の名称と働き	7
記録ファイルについて	10

設置と準備

取り付けかた	12
電源について	14
専用ソフトのインストール	15
動作テスト	18

専用ソフト

専用ソフトの使いかた	24
------------	----

その他

故障かな?と思ったら	50
仕様	51
録画時間について	52
アフターサービスについて	53
保証書	裏表紙

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。

絵表示について

この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

この記号は、関連するページを示します。

本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

本機の通気口等を塞がないでください。故障の原因となります。

警告

取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

手動記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

注意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。乾いた布などでふくとキズの原因となります。

警告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

注意

取り付けは確実に行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

運転中に画面等を注視しないでください。前方不注意による事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

安全上のご注意

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

● 電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、けがの原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。車の電装品（ブレーキ、ライト、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。
- ❗ コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。異常過熱や発火の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❌ バッテリーに直接接続しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- ❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

● SDカードについて

⚠ 警告

- ⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。
- ⚠ SDカードは一方にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。
- ⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- ⚠ 電源がONの状態ではSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず、電源OFF後ランプが3秒以上消灯したことを確認し、SDカードの抜き差しを行ってください。

使用上のご注意

つづく

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・真夏などの炎天下の中では製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になることがありますので、窓を開け車内の温度を下げてからご使用ください。
- ・事故発生時は、録画データが上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。

■ SDカードに関する注意

- ・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・SDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- ・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・SDカードは必ず付属品が別売品を使用してください。市販のSDカードを使用すると、正常に録画できない場合があります。

使用上のご注意

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

■ 使用前の注意

- ① ●P.15 を参照し、専用ソフトをパソコンにインストールして起動してください。
- ②専用ソフトのファイルメニュー [ツール] → [記録設定] から各種の設定を確認し、[OK] をクリックしてください。



GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の 24 個の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。

※ 走行履歴の記録時間は、「履歴記録時間」で変更できます。(●P.43)

1 車のエンジンを始動します。

本機の電源が入ると、GPS 測位機能が働きます。

通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

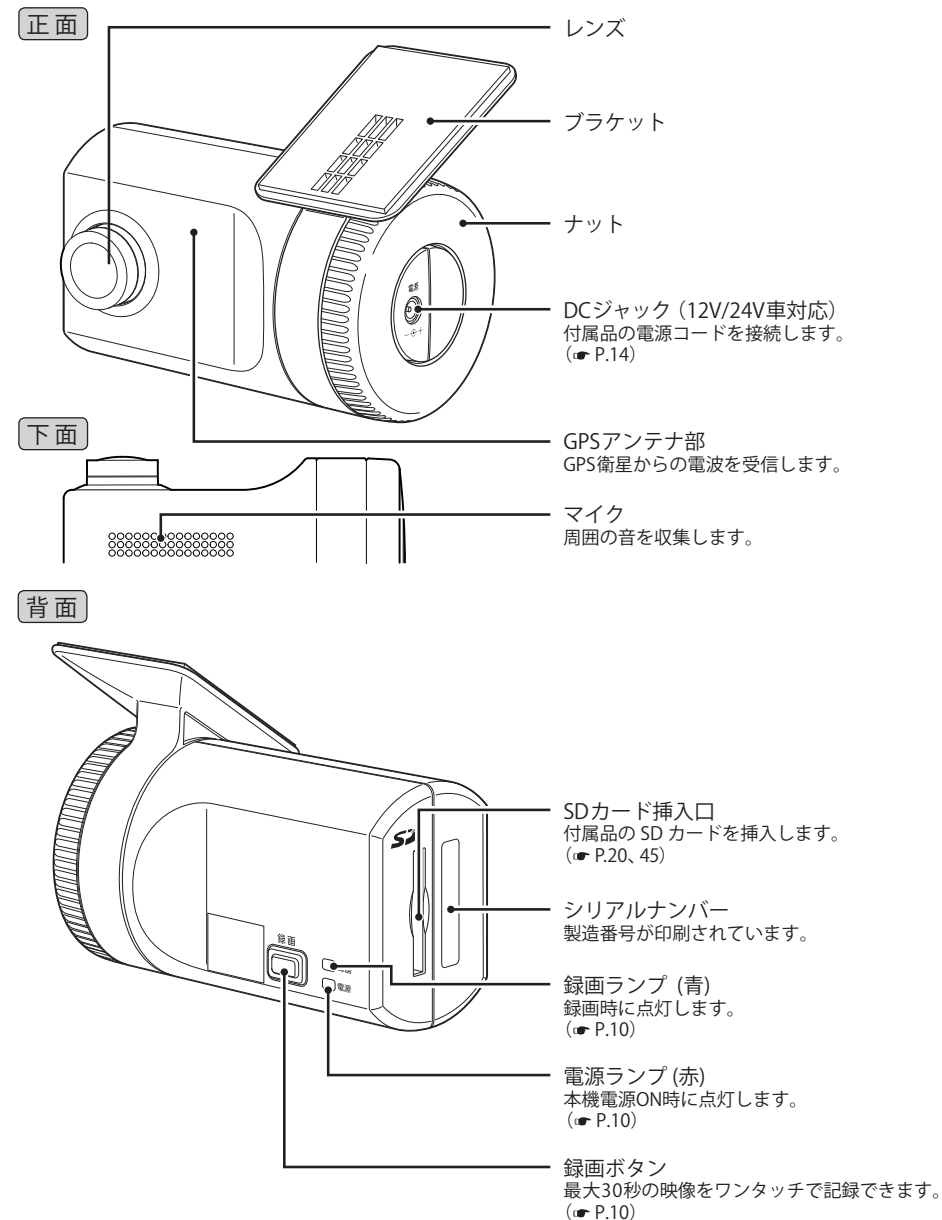
■ 電源コードに関する注意

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ (1A) と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

■ GPS 測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

各部の名称と働き



付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- 電源コード(約 4m)1



交換用ヒューズ：
1A (30mm×6.5mm)

- SD カード(8GB)1
- 専用ソフト
(付属品の SD カード内に収納)
- 両面テープ1
- コードクリップセット1
- 取扱説明書・保証書(本書)1

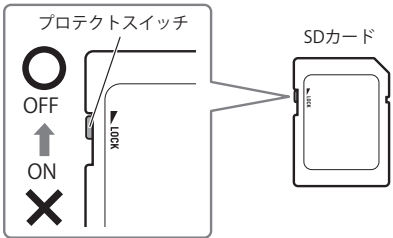
※ 紛失等による付属品の追加購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

- ・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、SD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

- ・SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
SD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

SD プロテクトスイッチについて

SD カードには、プロテクト(書き込み禁止)機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



別売品

- 本機専用 32GB SD カード OP-SD32 / 本体 20,000 円 + 税
- 本機専用 16GB SD カード OP-SD16 / 本体 10,000 円 + 税
- 本機専用 8GB SD カード OP-SD08 / 本体 5,000 円 + 税

※ 付属品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。

記録ファイルについて

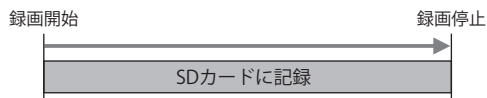
専用ソフトを使って、記録方法を選択することができます。(P.41)

常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を SD カードに常時録画します。記録したい時間に合わせて、設定を変更してください。(P.42)

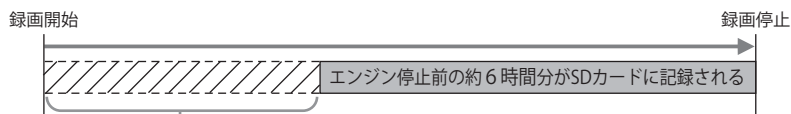
※ (32K、10 コマ/秒) で、付属品の SD カード (8GB) に約 6 時間の常時録画が可能です。

◆ 録画開始から録画停止まで 約 6 時間以内の場合



◆ 録画開始から録画停止まで約 6 時間を越える場合 (上書きモード ON 時 P.43)

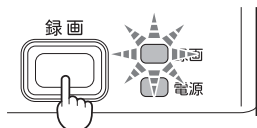
※ 上書きになると録画ランプ (青) が点滅になります。



古いデータから順に上書きされSDカードには残りません。

録画ボタンを押しての記録 (常時録画でのワンタッチ記録)

常時録画中に本機の録画ボタンを押すことで、タイムラインにトリガーが黄色でマークされます。(P.31)



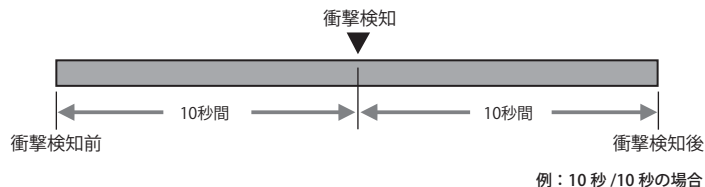
△注意

！ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

衝撃を検知しての記録 (イベント記録)

内蔵の加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、衝撃の前後の映像を SD カードに記録します。加速度センサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ランプ (青) が点灯から点滅に変化し、『ピー』音が鳴り、記録が行われます。記録が終了すると録画ランプ (青) が点滅から点灯に戻ります。前後時間比率は、記録設定によって変更することができます。(P.42)

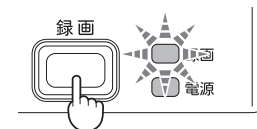
※ 記録時の警報ブザーは設定で OFF にすることができます。(P.43)



録画ボタンを押しての記録 (イベント記録でのワンタッチ記録)

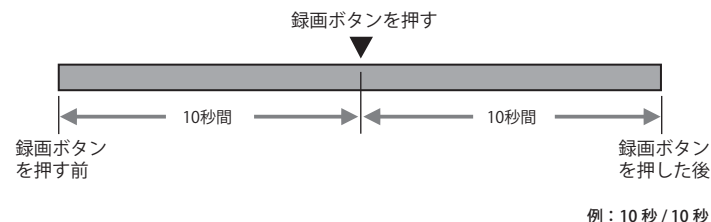
イベント記録中に本機の録画ボタンを押すことで、ボタンを押した前後の映像を SD カードに記録します。

※ ワンタッチ記録の記録設定は、イベント記録の記録設定 (P.42) が反映されます。



△注意

！ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。



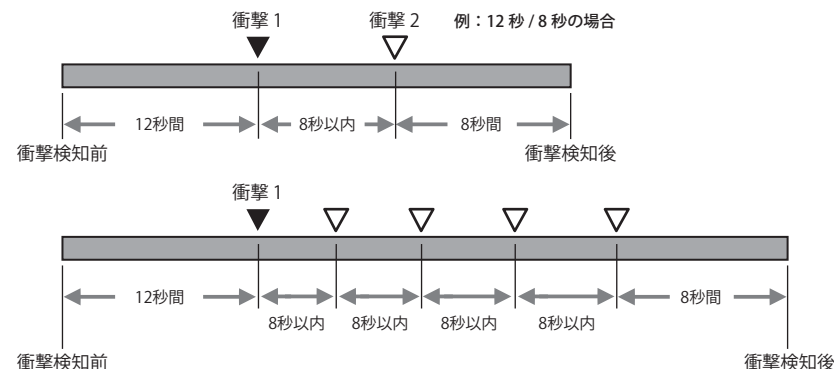
録画ボタンを押すと録画ランプ (青) が点灯から点滅になり、本機より『ピー』と音が鳴ります。※ 記録時の警報ブザーは設定で OFF にすることができます。(P.43)

● 記録が終了すると

…録画ランプ (青) が点滅から点灯に戻ります。

マルチトリガーについて

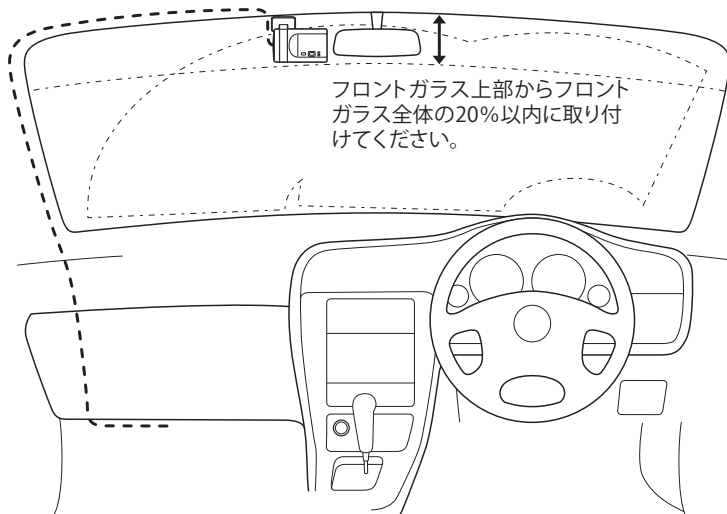
本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2 回目以降の衝撃も連続して記録可能です。



※ マルチトリガー検知後は、設定されている時間 (例: 8 秒間) 記録します。

取り付けの注意

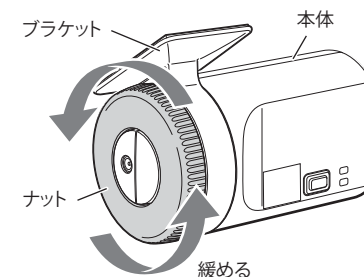
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ淵の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。



取り付け・取り外し方法

フロントガラスの角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。(特許第 4712858 号)

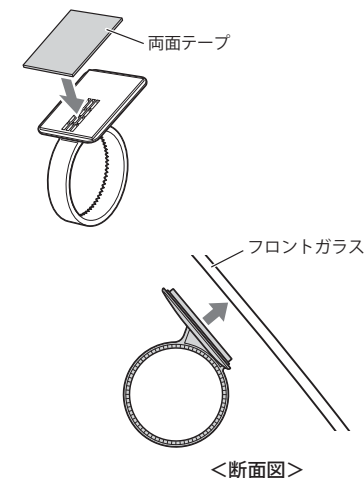
1 ナットをはずし本体からブラケットを取り外す



2 ブラケットに付属品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける

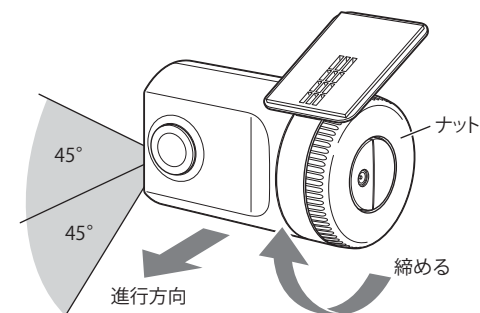
- ・あらかじめブラケットや、フロントガラスの汚れや脂分をよく落としたあと慎重に取り付けてください。
- ・車外から、貼り付け面にムラが無いことを確認してください。

- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
- ※ 貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。



3 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する

- ※ 上下 45°の角度まで本体を傾けて取り付けることができます。
- ※ 本体を初めて取り付けるときや、カメラの取り付け角度を変更したときは、設置角度の検出(●P.44)を必ず行ってください。



電源について

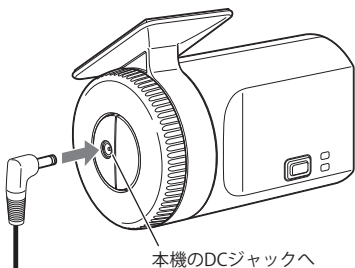
接続方法

付属品の電源コードを接続する。

接続作業の前に…

作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。

※ カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



- ・電源コード（黒／白線入り）のギボシ端子は、必要に応じカットしてご使用ください。
- ・電源コード（黒／白線入り）は、必ずエンジンキーのアクセサリ（ACC）ON/OFF 操作と連動して電源が ON/OFF する配線に接続してください。
- ・アースコード（黒）は、車両の塗装されていない金属部分（ボディアース）に接続します。
- ・走行中の振動などで配線が外れないようにしっかりと接続してください。

電源コード（黒／白線入り）
→ アクセサリー系の電源へ
アースコード（黒）
→ 車の金属部分へ

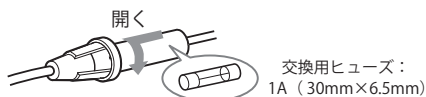
バックアップ機能について

重大事故などで、衝撃を検知後に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、録画中の映像の破損を防いで保存します。

ヒューズの交換

- ・接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、接続コード類が外れていないことと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。
- ・ヒューズを交換する際は、必ず同一容量（1A）のヒューズをご使用ください。

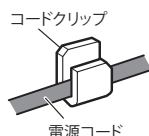
- ・図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回して外し、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。



コードクリップの使い方

走行中に本機が落下しないように付属のコードクリップセットでコードを固定し、取り付けてください。

- ・布などは避け、なるべく硬く、なめらかな場所を選び、チリや汚れをよく落としたあと、接着面に触れないように貼り付けてください。



専用ソフトのインストール

つづく

取り付けが終了したら…

取り付けが終了したら、専用ソフトをインストールして、動作テストを行ってください。

本機で記録した映像は、専用ソフトを使い、パソコンで見ることができます。

※ 誤って専用ソフトを削除した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

インストールの準備

OS : Microsoft Windows 7 または 8
CPU : Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

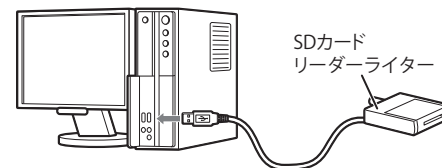
※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

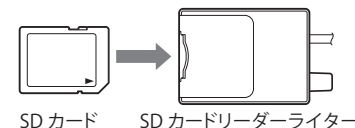
※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

※ 専用ソフトの画面サイズは 1024 × 768 ピクセル固定です。

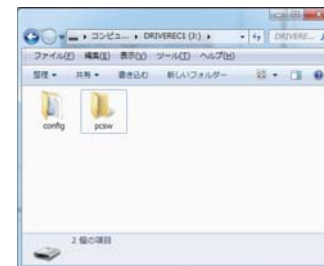
1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する



2 付属品の SD カードを SD カードリーダーライターに接続する



3 エクスプローラなどを起動し、「DRIVEREC1」と表示されているドライブを展開し、[pcsw] フォルダをダブルクリックする



専用ソフトをインストールする

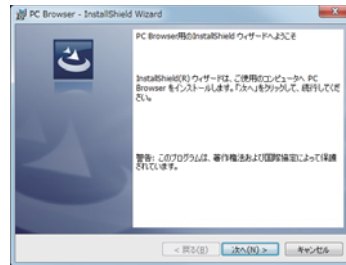
1 「setup.exe」をダブルクリックする

※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定されている場合、setup と表示されます。



2 セットアップウィザードの開始

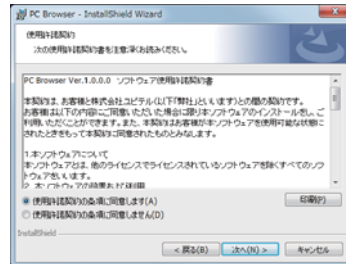
[次へ]をクリックします。



3 使用許諾契約書に同意する

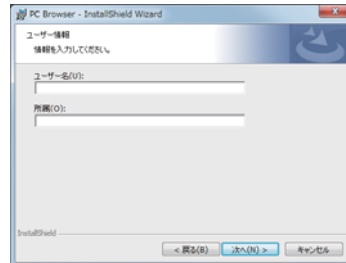
「同意する」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。

※ チェックを入れていない状態では、[次へ]をクリックすることができません。



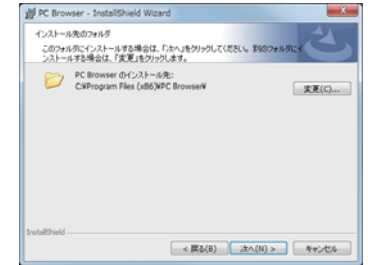
4 ユーザー情報を入力する

ユーザー情報を入力し、[次へ]をクリックします。



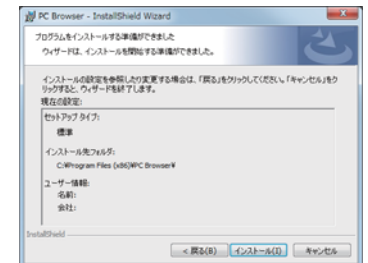
5 インストール先の指定

インストール先が表示されますので、変更しない場合は[次へ]をクリックし、変更する場合はインストール先を指定し[次へ]をクリックします。

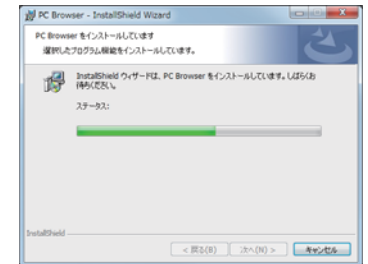


6 インストール準備完了

[インストール]をクリックします。

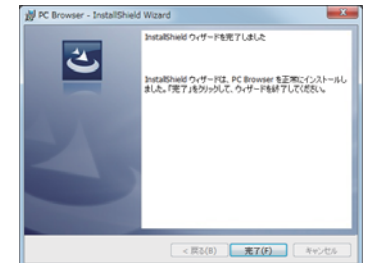


インストールしています。



7 セットアップの完了

[完了]をクリックします。



専用ソフトのバックアップについて

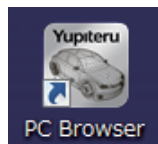
パソコンにソフトがインストールされていれば、専用ソフトでフォーマットする事により、SDカード内にプログラムを生成することが可能です。(「SDカードフォーマット」P.45)
また、弊社ホームページ内でダウンロードすることも可能です。
弊社ホームページ <http://www.yupiteru.co.jp>

本機は SD カードの設定を読み込み、動作します。
ご使用になる前に、必ず下記の手順で動作テストを行ってください。
テストを行わない場合、正常に動作しないことがあります。

専用ソフトでの準備

1 デスクトップにある [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

専用ソフトが起動します。



2 専用ソフトのファイルメニューの [ツール] → [機種選択] から使用する機種を選択する

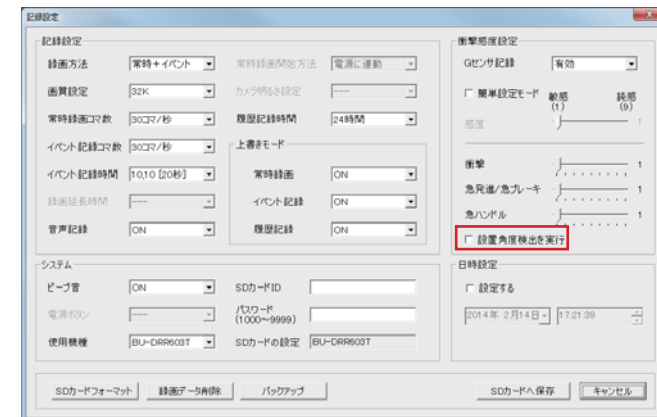
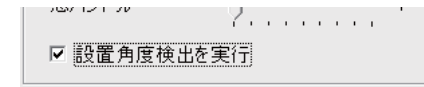
※ 間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。



3 専用ソフトのファイルメニューの [ツール] → [記録設定] を選択する



4 [設置角度検出を実行] に ☒ を入れ [SD カードへ保存] をクリックする



5 パソコンから SD カードを取り出し、本機に挿入する

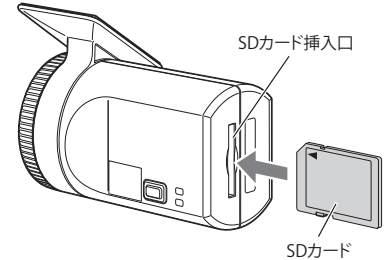
本機の準備

1 記録設定済みの SD カードを挿入する

本機の電源が OFF になっていること(録画・電源のランプがすべて消灯)を確認して、設定済みの SD カードを挿入してください。

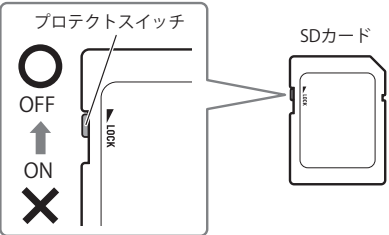
※ 付属品の SD カード、または別売品の SD カード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

※ SD カードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、SD カードや本機の故障の原因となります。



SD プロテクトスイッチについて

SD カードには、プロテクト（書き込み禁止）機能が付いています。使用時には、プロテクトスイッチを OFF にしてください。



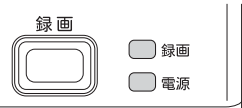
2 車のエンジンを始動する

本機に電源が供給されると電源ランプ（赤）が点灯します。設置角度検出が実行されて正常に起動すると、録画ランプ（青）が点灯し、動画の記録が開始されます。

- ※ 本機から『ピー』と鳴る場合は、SD カードの挿入を確認してください。
- ※ 設置角度検出をしますので、平らな場所でエンジンを始動してください。
- ※ 購入後、初めてご使用される場合、障害物や遮へい物のない見通しのいい場所で 10 分～ 20 分程度通電状態にし、GPS の電波を受信（測位）させます。GPS を測位した時点で、GPS の情報による日時の修正が行われます。

電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が点灯する

正常に起動しています。



下記の状態は正常に起動していません。

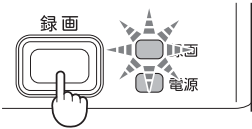
ランプの状態	警告音	症状・対処方法
電源ランプ（赤）だけが点灯する	『ピー』と鳴る	付属品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。車両のエンジンキーを OFF にして、付属品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。
電源ランプ(赤)と録画ランプ(青)が 10 秒間交互に点灯し、電源ランプ（赤）だけが点灯する	『ピーピーピー』と鳴る	付属品の SD カードのプロテクトスイッチが ON(書き込み禁止)になっています。車両のエンジンキーを OFF にして、付属品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にしてから、再度正しく挿入してください。(●P.20 「SD プロテクトスイッチについて」)
電源ランプ（赤）だけが 10 秒間点灯したあと、電源ランプ（赤）と録画ランプ（青）が交互に点滅し、電源ランプ（赤）だけが点灯する	『ピーーピーーピーー』と鳴る	本機専用の SD カードが使用されていないときなどは、正常に起動できません。車両のエンジンキーを OFF にして、SD カードを抜き取り、付属品または本機専用の SD カードを再度正しく挿入してください。

準備が終了したら…

本機の準備が終了したら、テストとして映像を記録します。録画ボタンを押して映像を記録してください。

3 録画ボタンを押す

録画ボタンを押すと録画ランプ（青）が点灯から点滅になり、本機より『ピー』と音が鳴ります。



- 記録が終了すると
…録画ランプ（青）が点滅から点灯に戻ります。

4 車のエンジンを OFF にする

※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。SD カードの抜き差しは、録画および電源のランプが消灯している状態で行ってください。

5 本機から SD カードを取り出す

- ・ SD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

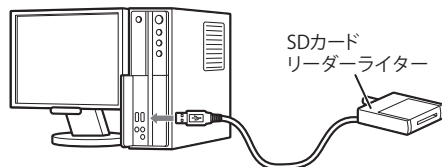
テスト映像を記録したら…

専用ソフトがインストールされているパソコンで映像の確認を行います。

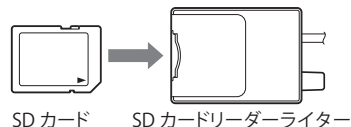
テスト記録の確認

※ 本ソフトは、本機専用ソフトです。
本機以外の機種で記録した映像は読み込むことができません。

1 SD カードリーダーライターをパソコンに接続する

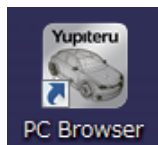


2 付属品のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



3 デスクトップにある[PC Browser]アイコンをダブルクリックする

専用ソフトが起動します。

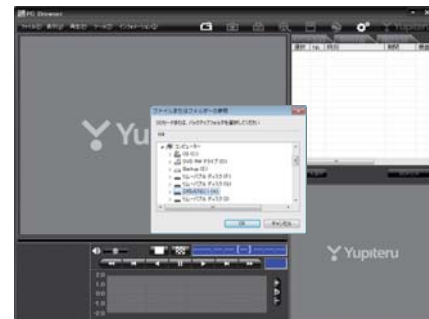


4 (フォルダ) をクリックする



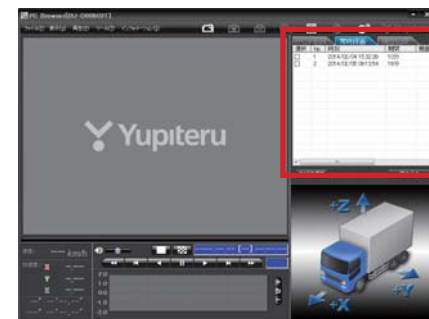
5 「DRIVEREC1」と表示されているドライブを指定し、[OK] をクリックする

- ・[ファイル] をクリックし[データフォルダ]を指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。



6 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に☑が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに☑が表示されます。



7 [読み込み] をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれ、表示されます。

※ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。



テスト記録を確認したら…

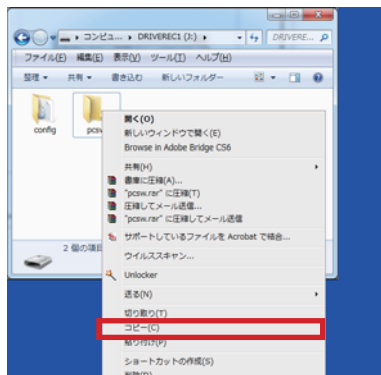
テスト記録に問題が無ければ、[記録設定] (P.41) をお好みの設定に変更して、SD カードを本機に戻してご使用を開始してください。
問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

専用ソフトのバックアップ(コピー)について

専用ソフトは付属品の SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをおすすめします。

例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合

- 1 エクスプローラなどを起動させ、「DRIVEREC」と表示されているドライブを展開し、「pcsw」フォルダ上で右クリックし、「コピー」を選択する



- 2 デスクトップ上で右クリックし、「貼り付け」を選択する

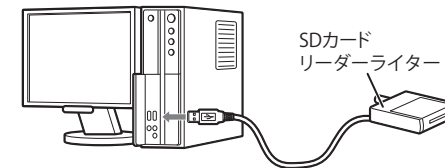


- 3 保存の完了

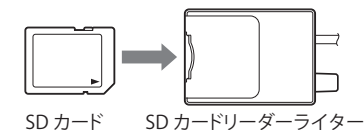
デスクトップに「pcsw」フォルダがコピーされます。

記録データの準備

- 1 SD カードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

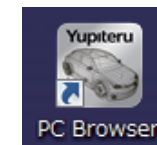


- 2 付属品の SD メモリーカードを SD カードリーダーライターに接続する



- 3 デスクトップにある「PC Browser」アイコンをダブルクリックする

専用ソフトが起動します。

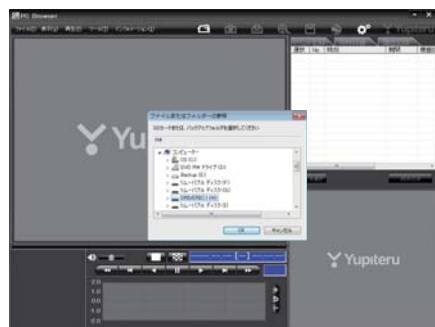


4 (フォルダ) をクリックする



5 「DRIVEREC1」と表示されているドライブを指定し、[OK] をクリックする

- ・[ファイル] をクリックし[データフォルダを指定] から、[DRIVEREC1] を選択しても同じ画面表示になります。



記録された映像を見る(イベント記録)

1 イベント記録タブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



3 [読み込み] をクリックする

- ・選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
- ・[ファイル] をクリックし[読み込み] から[イベント] をクリックしても同じ画面表示になります。

※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



イベント記録のファイル名について

ワンタッチ記録や衝撃を検知した日付、時間がファイル名となります。

2014/ 10/ 20 19 : 21 : 12 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ (映像を記録するきっかけ)

●トリガ

衝撃を検知して記録した場合は「衝撃」「急発進/急ブレーキ」「急ハンドル」、録画ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

※ ワンタッチ以外のトリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

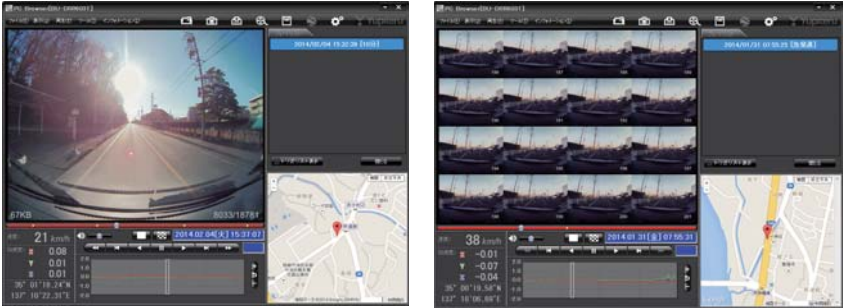
常時録画のファイル名について

日付、時間、期間がファイル名となります。

2014/ 10/ 20 19 : 21 : 12 20分
年 月 日 時 分 秒 期間 (映像の記録時間)

No	表示名	表示の意味
①	メニューバー	各種メニューバー
		フォルダを指定します。
		静止画に変換します。
		印刷をします。
		動画変換します。
		データのバックアップをします。
		ログデータに変換します。
		記録設定の変更をします。
②	表示エリア	選択したファイルの映像を表示します。(●P.49「表示エリアの操作」)
③	音量 / 表示切替ボタン	音量を調節します。 / 1画面表示、16分割表示に切り替えます。
④	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。
⑤	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向：赤色)、左右(Y方向：黄緑色)、上下(Z方向：青色)で表示します。
⑥	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度 (N)・経度(E)を表示します。
⑦	再生ボタン	再生や、早送りなどの操作を行います。
⑧	加速度センサーグラフ表示	加速度センサーグラフを表示します。
⑨	日付 時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑩	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていない場合やGPSを測位していない場合、地図 (Google Maps) は表示されません。
⑪	プレイリスト一覧	選択されているファイルを表示します。

- や ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変えることができます。
 - ・ を1回クリックすると1倍速(通常速度)、2回クリックすると0.5倍速(スロー)で[再生]または[逆再生]できます。
 - ・ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。
- ボタンをクリックすると1画面表示、 ボタンをクリックすると16分割表示に切り替えることができます。
 - ・ [表示]をクリックし[画面表示]から[1画面表示]または[16分割表示]をクリックしても同様に画面表示を切り替えることができます。



- 加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。
- 加速度センサー表示は ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、 ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。
 ボタンをクリックすると標準のスケールになります。
 - ・ [表示] → [加速度センサースケール] から [拡大] [標準] [縮小1] [縮小2] を選択、操作をしても同様の動作となります。
 - ・ エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



4 再生する

- ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生を行います。
- 映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



- ・ [再生]をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止]をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・ 記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生]や[早戻し]のボタンをクリックしてください。

記録された映像を見る(常時録画)

1 常時録画タブをクリックする



2 見たい映像ファイル名をクリックする

- ・ 選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。



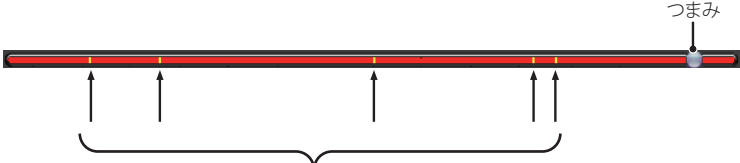
3 [読み込み] をクリックする

- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
 - ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。
 - ・ [ファイル] をクリックし [読み込み] から [常時録画] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ※ 一度に読み込むファイル数を多くすると、ファイル名を表示するのに時間がかかる場合があります。



No	表示名	表示の意味
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。 黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン	常時録画中のイベント位置 (衝撃検知位置やワンタッチ記録位置) を表示します。

● つまみをスライドさせ  ボタンをクリックすると、その場所から再生できます



常時録画中に、イベント(衝撃検知や録画ボタン操作)での記録があった場所を表示します。

●  トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのリスト表示に切り替えることができます。



リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。



記録した映像を保存する

SD カード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

バックアップ

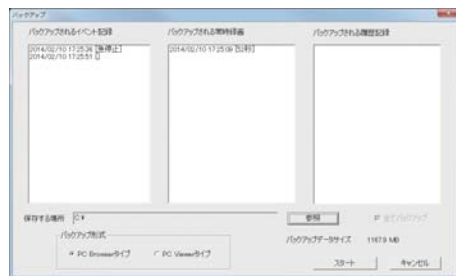
SD カードに記録されているファイルをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データの削除 (P.47) を行ってください。

1 ファイル名の一覧より、保存したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、[読み込み] をクリックする

2  (バックアップ) をクリックする

- ・[ツール] をクリックし [バックアップ] をクリックしても同じ画面表示になります。
- ・読み込まれたファイルが表示されます。



3 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは[OK] をクリックします。

バックアップしたファイルはデータフォルダの参照よりバックアップを選択すると確認できます。

※ PC Browser タイプで保存した場合：

フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

※ PC Viewer タイプで保存した場合：

フォルダ内に「ch1」「audio」「log」の3つのフォルダが作成されます。

動画変換

記録されたファイルを AVI 形式 (MJPEG) の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像を見る

動画変換して保存したファイルは Microsoft Media Player Ver. 12.0 以上で再生できます。

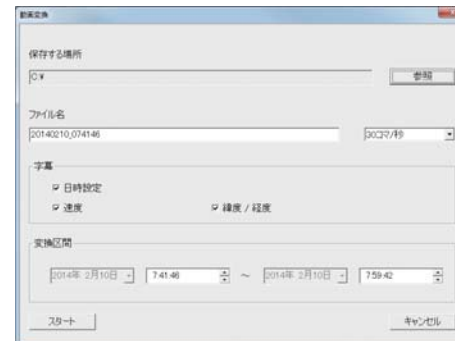
1 ファイル名の一覧より、動画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、[読み込み] をクリックする

2  (動画変換) をクリックする

・[ツール] をクリックし、[動画変換] をクリックしても同じ画面表示になります。

3 お好みのファイル名や保存する場所、範囲、コマ数、画質を指定し、[スタート] をクリックする

「速度」など、各項目に ☒ を入れると、保存映像に字幕として各項目の情報を表示します。「音声」に ☒ を入れると、音声入りの動画ファイルを保存します。



4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

指定した保存先に *.avi ファイルが保存されます。

終了するときは[OK] をクリックします。

※ *部には、映像を記録した日時か、指定した名称が入ります。



静止画変換

表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、「表示中の静止画すべて」または「コマ数指定」を選択します。

静止画変換した映像を見る

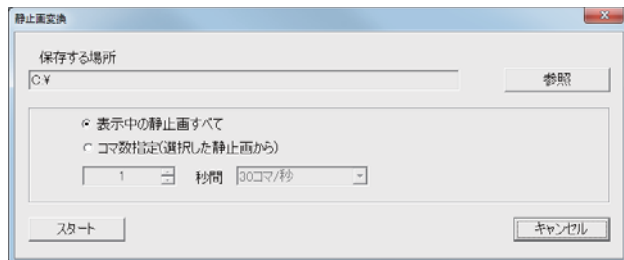
静止画変換し、JPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

1 ファイル名の一覧より、静止画変換したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、「読み込み」をクリックする

2 （静止画変換）をクリックする

・[ツール]をクリックし、[静止画変換]をクリックしても同じ画面表示になります。

3 「表示中の静止画すべて」、または「コマ数指定」を選択し、お好みの保存先を指定し、[スタート]をクリックする



● 表示中の静止画すべて

1画面表示で静止画変換を行った場合は1枚、16分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている16画面の映像すべてを静止画に変換できます。

● コマ数指定

・表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。

<コマ / 秒>

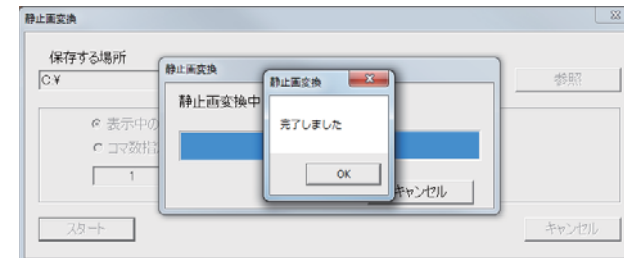
1秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定のコマ / 秒(● P.42)が反映されます。

・静止画枚数は秒×コマ数になります。

4 保存が完了すると、「完了しました」と表示される

終了するときは[OK]をクリックします。



記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1 ファイル名の一覧より、印刷したい映像ファイル名をクリックし、☒ を入れ、「読み込み」をクリックする

2 （印刷）をクリックする

・[ファイル]をクリックし、[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

3 「表示中の静止画すべて」または「コマ数指定」を選択する

● 表示中の静止画すべて

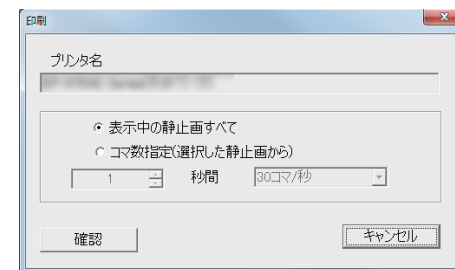
表示エリアの映像を印刷します。16分割表示で表示されているときは、表示されている16枚の印刷を行います。

● コマ数指定

表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定のコマ / 秒(● P.42)が反映されます。

・印刷枚数は秒×コマ数になります。



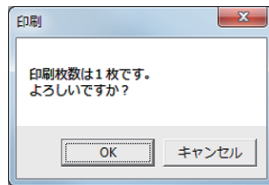
4 [確認] をクリックする

印刷画面が表示されます。

終了するときは[閉じる]をクリックします。



- 印刷
印刷枚数を選択します。
[OK]をクリックすると印刷を行います。



- プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- 1 コマ表示
1 枚に 1 コマの映像データを表示します。
- 4 コマ表示
1 枚に 4 コマの映像データを表示します。

履歴を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本機の電源が入っている間、GPS 測位によって約 1 秒ごとに自車位置を記憶し、設定した時間分 (P.43) の履歴 (ログデータ) を SD カードに保存します。

※ GPS 測位できない場合は、自車位置を記録できません。

※ 合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

※ 履歴 (ログデータ) を作らないようにすることはできません。

1 履歴タブをクリックする



2 ファイル名の一覧より、見たい履歴のファイル名をクリックする

- ・選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・複数のファイルを選択できます。
- ・「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。

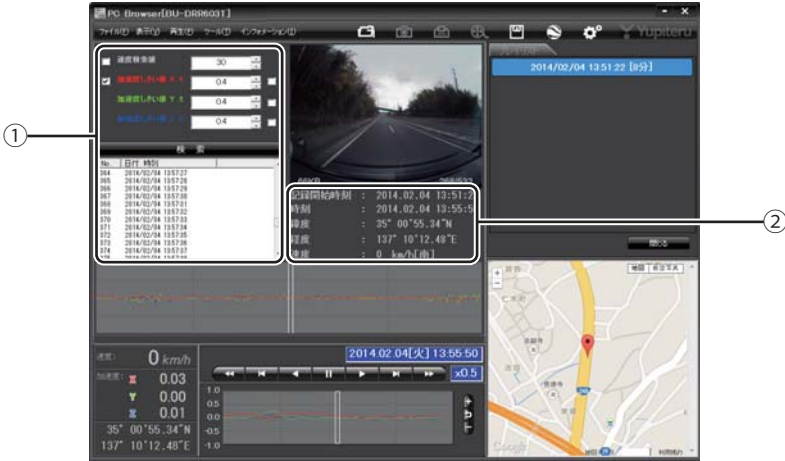


3 [読み込み] をクリックする

選択した履歴が読み込まれます。



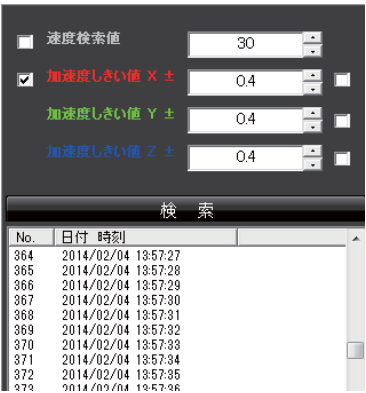
● 画面表示について



No	表示名	表示の意味
①	検索	速度や加速度の値を設定し、検索することができます。
②	ファイル情報(記録開始時刻、時刻、緯度、経度、速度)	映像の記録日や緯度・経度などの情報を表示します。

● 検索

履歴の中から設定した値を越える速度や衝撃(加速度)の映像を検索でき、ファイルとして表示します。



速度検索値	検索する走行速度を設定します。
加速度しきい値 X±	検索したい前後方向の値を設定します。
加速度しきい値 Y±	検索したい左右方向の値を設定します。
加速度しきい値 Z±	検索したい上下方向の値を設定します。

- ・ ☐ に ☒ を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・ 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

● ファイル情報

読み込まれたファイルの記録開始時刻、表示している画面の時刻、緯度、経度、速度[進行方向]を表示します。

記録開始時刻	: 2014.02.04 13:51:22
時刻	: 2014.02.04 13:55:50
緯度	: 35° 00'55.34"N
経度	: 137° 10'12.48"E
速度	: 35 km/h[南]

- ・ 記録開始時刻…本機に内蔵されている時計(日時)履歴や映像ファイル名に本体時計の時間が用いられます。日時設定を手動設定にしている場合(☛ P.45)、手動で設定した時間を表示します。

Google Earth 用のデータに変換する

蓄積された履歴ファイルを KML ファイルに変換できます。変換した KML ファイルを使って GoogleEarth 上で全走行ルートの表示ができます。また記録した映像を静止画に変換して(☛ P.33) GoogleEarth の機能を使って、ルート上に表示・保存できます。

- ※ あらかじめ Google Earth のホームページより Google Earth をダウンロードし、パソコンにインストールしておいてください。
- ※ Google Earth のご使用方法等は、Google Earth のホームページをご確認ください。

1 「履歴」をクリックする

2 変換したい映像ファイル名をチェックして読み込む

- ・ 選択したファイル No. に ☒ が入ります。
- ・ 複数のファイルを選択できます。
- ・ 「すべてを選択」をクリックすると、記録されているファイルすべてに ☒ が表示されます。
- ・ [ファイル] をクリックし、[読み込み] から [履歴] を選択しクリックしても同じ画面表示になります。
- ・ [ファイル] → [読み込み] [履歴] を選択しても同様の動作となります。
- ・ 選択した映像が読み込まれ、表示されます。
- ・ 複数のファイルを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

3 (ログデータ変換) をクリックする

- ・ [ツール] → [ログデータ変換] を選択しても同様の動作となります。

4 保存する場所とお好みのファイル名を指定し、ポイント、ルートを設定し、スタートをクリックする

- ポイント（ログファイルデータの点による位置を表現します）

GPS 測位による 1 秒間隔の自転車位置変化をポイントとして Google Earth に表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

- ・変換するポイントの密度：（1 ～ 30）

Google Earth に表示させる自転車位置の間隔を秒数（1 ～ 30）で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く（広く）なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

- ルート（ログファイルデータの線分図形を表現します）

走行軌跡を線で表示します。

- ・幅：（1 ～ 10）

走行軌跡表示の幅を設定します。

- ・透明度：（0 ～ 255）

走行軌跡表示の透明度を設定します。

0 は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

- ・色

走行軌跡表示の色を設定します。

- Google Earth 起動

ログファイル保存完了後、Google Earth を自動で起動します。

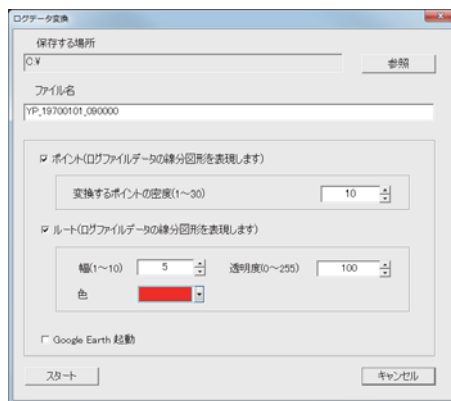
5 ログファイル保存完了が表示されるので、[OK] をクリックする

Google Earth 起動に ☒ を入れると、ログファイル保存完了後、Google Earth が起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡は Google Earth 上の道路や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

6 [キャンセル] をクリックする

ログデータ変換が終了します。



設定を変更する

設定を変更する前に、専用ソフトのファイルメニューの [ツール] → [機種選択] から使用する機種を選択してください。（P.18）

※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。

記録設定

（記録設定）をクリックすると、各種の設定変更や SD カードの初期化や記録データのバックアップ、SD カードからの記録データの削除を行うことができます。

・ [ツール] をクリックし [記録設定] をクリックしても同じ画面表示になります。

設定変更を行う場合は必ず SD カードを SD カードリーダーに接続してご使用ください。設定内容は SD カードに保存されます。

SD カードを本機に戻し、本機の電源が入ると設定内容が読み込まれ本機に反映されます。



● P.32「バックアップ」

設定内容を SD カードに保存します

① 記録設定

● 録画方法

記録する形式を選択できます。
[常時録画] [イベント記録] [常時＋イベント] から選択できます。

常時録画	エンジン停止直前までの映像をSDカードに記録します。(10コマ/秒、32K)で、付属品のSDカード(8GB)に約6時間の常時録画が可能です。
イベント記録	衝撃、急発進/急ブレーキ、急ハンドルを検知した場合、および録画ボタンを押した場合に映像を記録します。 ※常時録画のみに設定した場合でも、イベント検出されたことは常時録画内に記録されます。

工場出荷時は「常時＋イベント」に設定されています。

記録形式変更時の注意

すでにSDカードに記録した記録データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合(「常時録画」から「イベント記録」への変更など)は、SDカードに記録されている記録データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。
設定を変更する場合は、SDカードに記録している記録データをパソコンなどにバックアップしてください。(P.32) 削除した記録データは、元に戻せませんのでご注意ください。

● 画質設定

記録する映像の画質を選択できます。
工場出荷時は「32K」に設定されています。

● 常時録画コマ数

常時録画時に1秒間に記録する映像のコマ数を選択できます。
工場出荷時は「10コマ/秒」に設定されています。

● イベント記録コマ数

イベント記録時に1秒間に記録する映像のコマ数を選択できます。
工場出荷時は「30コマ/秒」に設定されています。

● イベント記録時間

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

項目	記録モード	常時録画	イベント記録
撮影サイズ		320x240(16K[Lo])、640x480(32K、64K[Hi])	
コマ数		30, 15, 10, 5, 1コマ/秒 2, 1コマ/分、12, 6コマ/時	30, 15, 10, 5, 1コマ/秒
画質		16K[Lo]、32K、64K[Hi]	
イベント記録時間		—	前10秒/後10秒 前12秒/後8秒 前15秒/後5秒※ 前18秒/後12秒※ 前20秒/後10秒※

※画質設定が64K[Hi]の場合は設定できません。

工場出荷時は「10,10[20秒]」に設定されています。

● 音声記録

音声も記録する場合は[ON]にします。
工場出荷時は「ON」に設定されています。

● 履歴記録時間

24時間、168時間、480時間のログ(位置/加速度/時間)を記録します。
工場出荷時は「24時間」に設定されています。

● 上書きモード

[常時録画] [イベント記録] [履歴記録] それぞれのSDカードの空き容量が不足したときの保存方法を選択できます。
[ON]または[OFF]から選択します。

・上書きモードがONの場合

…SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に書き換わります。

・上書きモードがOFFの場合

…容量がいっぱいになると保存されません。

工場出荷時は「ON」に設定されています。

② システム

● ビープ音

イベント記録時の警報ブザー「ピー」音のON/OFFを設定できます。
工場出荷時は「ON」に設定されています。

● 使用機種

使用する機種を選択します。

● SDカードID

SDカードIDを設定できます。
SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。

● パスワード

設定を変更できないように、パスワードを設定できます。(1000～9999の4桁)

● SDカードの設定

SDカードが設定されている機種を表示します。

③ 衝撃感度設定

● G センサ記録

G センサーにより衝撃を感知した場合の記録を [有効] [無効] で選択します。

工場出荷時は「有効」に設定されています。

※有効にした場合、常時記録のみに設定されていても、衝撃検出は行われます。
衝撃検出した場合は、ブザーが『ピー』と鳴り、録画ランプ(青)が点滅します。

● 簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

敏感～鈍感までの9段階から設定できます。

工場出荷時は「5」に設定されています。

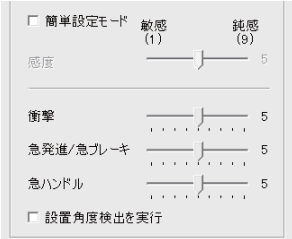
感度レベル	動作・使用条件
1 (敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
↑	
	標準設定 (基本的に事故のみを記録)
↓	
9 (鈍感)	悪路で反応する場合やサスペンションがかたい車の場合

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの ☒ をはずすと衝撃、急発進/急ブレーキ、急ハンドルの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定できます。

各設定を終えたら [OK] をクリックします。

「現在の設定を保存しますか」と表示されますので、[OK] をクリックしてください。



- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本機から『ピー』と鳴り録画ランプが点滅)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

● 設置角度検出を実行

本機を初めて取り付けたときや、カメラの取り付け角度を変更したときは設置角度検出を実行してください。

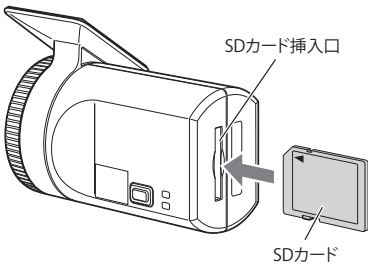
1 「設置角度検出を実行」に ☒ を入れ [OK] をクリックする

☒ 設置角度検出を実行

2 SD カードを本機に挿入する

電源が切れていること(録画・電源のランプがすべて消灯)を確認して、SD カードを挿入してください。

※ エンジンキーを OFF にしても、しばらくは SD カードにデータの書き込みが行われています。SD カードの抜き差しは、録画および電源のランプが消灯している状態で行ってください。



3 車のエンジンを始動すると、設置角度を自動的に検出します。

- ※ 設置角度検出は、平らな場所で行ってください。
- ※ エンジン始動後、数秒間(録画ランプ(青)だけが点灯するまで)車を動かさないでください。
- ※ 『設置角度検出を実行』の ☒ は、設定後には外れた状態になります。もう一度設定する時以外は、☒ を入れる必要はありません。

④ 日時設定

GPS の電波により日時を習得し、測位後に一度電源を切ることで、自動的に日時の修正が行われます。

● 設定する(手動設定)

☐ に ☒ を入れ、日付や時刻を設定することもできます。

※ 本機の電源が入ると SD カードから読み込み、日時を修正します。
手動設定する場合は、現在時刻ではなく、次に本機の電源を入れる日付や時刻を想定して設定してください。

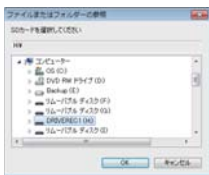
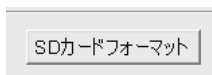
⑤ SD カードフォーマット

一度 SD カード内のファイルをすべて消去し、必要なファイルを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SD カードからの読み込みが遅くなった場合に初期化を行ってください。

- ※ パソコンによる SD カードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。
- ※ 必ず SDHC 規格に対応した SD カードリーダーライターや SDHC 規格に対応したカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。SDHC 規格に対応していない場合、SD カードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

・ [ツール] をクリックし、[SD カードフォーマット] をクリックしても同じ画面表示になります。

1 「SD カードフォーマット」をクリックし、SD カードのフォルダ (DRIVEREC1) を選択し [OK] をクリックする



2 フォーマットの設定をし、[スタート]をクリックする

フォーマット画面が表示されます。

・クイックフォーマット

短時間でフォーマットを行います。

・完全フォーマット

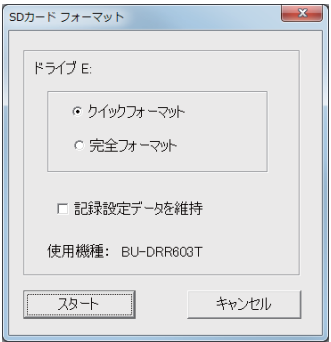
時間をかけて完全にフォーマットを行います。

☒ 記録設定データを維持

SD カードの初期化を行っても、記録設定のデータを保持します。

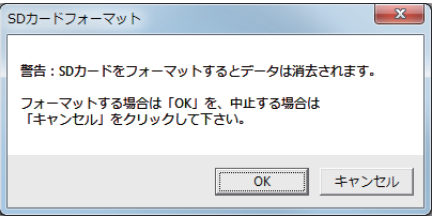
☒ をはずすと工場出荷時の設定内容に戻ります。

※ 記録されたデータは削除されます。

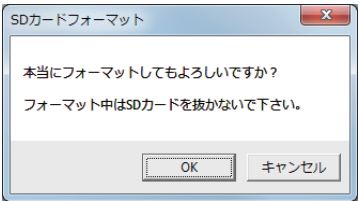


3 [OK] をクリックする

右の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止をする場合は、[キャンセル]をクリックします。



再度、右の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止をする場合は、[キャンセル]をクリックします。



4 [フォーマット完了] が表示される

[OK] をクリックすると記録設定画面に戻ります。

⑥ 録画データ削除

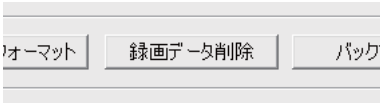
録画データ削除をクリックすると「録画データ削除」と「記録設定データ初期化」が選択画面に表示されます。

● 録画データ削除

SD カード内に記録されたデータを削除します。

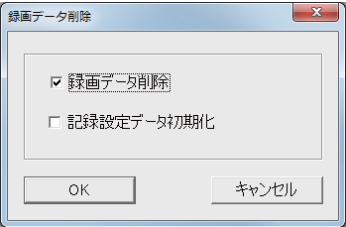
いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(P.32)

1 「録画データ削除」をクリックする



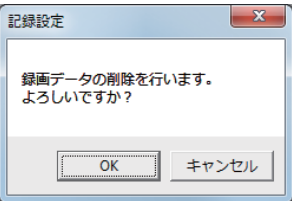
2 録画データ削除に☒を入れ、[OK]をクリックする

「録画データをすべて削除しますか？」と表示されます。



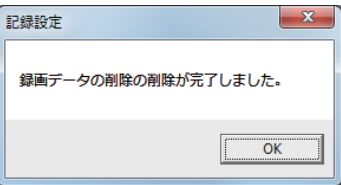
3 「はい」をクリックする

録画データの削除が完了します。



4 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。

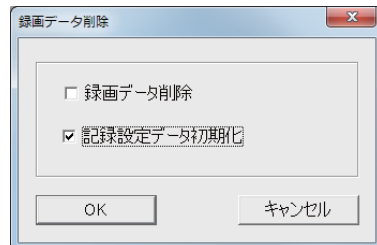


● 記録設定データ初期化

記録設定項目を工場出荷時の状態にリセットします。

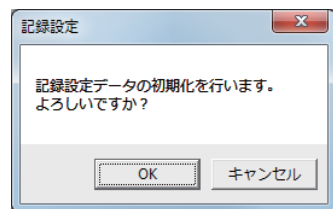
1 記録設定データ初期化に☑を入れ、[OK]をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



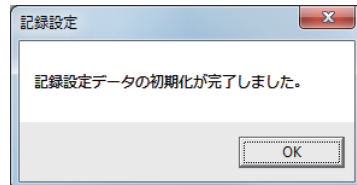
2 [OK] をクリックする

記録設定データの初期化が完了します。



3 [OK] をクリックする

記録設定画面に戻ります。



⑦ バックアップ

☞ P.32「バックアップ」を参照。

インフォメーション

● バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

● アップデート

クリックするとユピテルホームページを開くことができます。

・画面右上の  をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

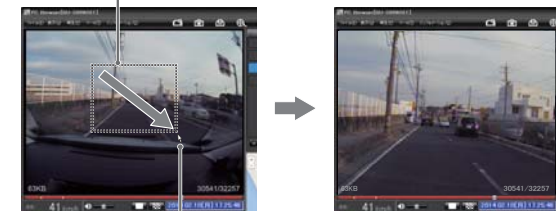
表示エリアの操作

表示エリアでは、下記の操作が行えます。

● 選択した範囲を拡大表示

- ・範囲を指定することで、拡大表示します。
マウスの左ボタンで拡大したい部分をドラッグします。
- ・拡大表示を元に戻す場合は、マウスの右クリックで「画像表示エリアのメニュー」を表示させ、[標準に戻す]を選択します。

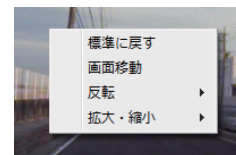
点線部分が範囲選択部分です。



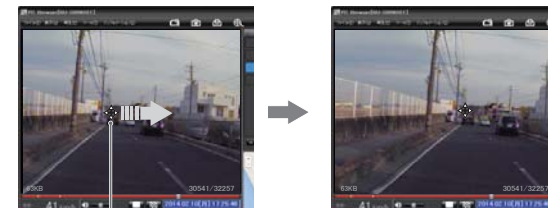
マウスのポインター

● 画像表示エリアのメニュー

マウスの右クリックで「画像表示エリアのメニュー」を表示します。



- ・標準に戻す・・・拡大表示した画像や反転した画像を初期表示に戻します。
※ 画像が初期表示状態の場合、[標準に戻す]は使用できません。
- ・画面移動・・・拡大表示した画像の表示位置を移動します。マウスの左ボタンでドラッグし、表示させたい部分まで移動します。



マウスのポインター

- ※ マウスの左ボタンを離すと画面移動は終了します。再度画面移動を行う場合は、「画像表示エリアのメニュー」を表示させ、[画面移動]を選択してください。
- ※ 拡大表示していない場合、[画面移動]は使用できません。

- ・反転・・・[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。
[上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。
- ・拡大・縮小・・・[拡大]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を 200%拡大します。
[縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を 50%縮小します。

故障かな？と思ったら

故障かな？

電源が入らない

- 電源コードが外れていませんか。
- 電源コード内部のヒューズが切れていないか確認してください。
切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。

➡14

映像が記録できない

- 付属品の SD カードが正しく挿入されていますか。
- 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。

➡20

➡43

記録した映像が映らない

- 専用ソフトがインストールされていますか。

➡15

本機から『ピー』と警告音が鳴る

- 付属品の SD カードが正しく挿入されていますか
- 付属品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは、正常に起動できません。車のエンジンキーを OFF にして、付属品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。

➡20

本機から『ピーピーピー』と警告音が鳴る

- SD カードのプロテクトが ON(書き込み禁止)になっていませんか。
車のエンジンキーを OFF にして、付属品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にして、再度正しく挿入してください。

➡20

本機から『ピーーピーーピーー』と警告音が鳴る

- 本機専用の SD カードを使用されていますか。
本機専用の SD カードを使用していないときなどは、正常に起動できません。車のエンジンキーを OFF にして、SD カードを抜き取り、付属品または本機専用の SD カードを再度正しく挿入してください。

➡21

記録した音声小さい

- マイクを塞いでいませんか。

➡7

SD カードに録画データが保存されていない

- SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。

速度が表示されない

- GPS が測位されていないと速度が表示されません。

➡6

仕様

電源電圧	DC 12V/24V(マイナスアース車専用)
消費電力	4 W (平均消費電力)
カメラ素子	カラー CMOS
視野角	対角160° (120° (水平)、86.6° (垂直))
画素数	30万画素
画像画質・画像サイズ	16K(320×240)、32K(640×480)、64K(640×480)
最低被写体照度	1LUX(ルクス)
記録媒体	SDHC カード
記録形式	MJPEG
フレームレート	30,15,10,5,1 コマ / 秒、2,1 コマ / 分、12,6 コマ / 時
動作温度範囲	−10℃ ～+60℃
外形寸法	80 (W) ×50 (直径) mm (突起部除く)
重量	約120g (SDカード含む)
GPS受信方式	16チャンネル／パラレル受信方式
GPS受信周波数	1.6GHz帯

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

録画時間について

映像記録時間の目安

録画時間（イベント記録時）

SD カード容量 8GB								
画質設定	イベント前	イベント後	合計	30 コマ / 秒	15 コマ / 秒	10 コマ / 秒	5 コマ / 秒	1 コマ / 秒
64K	10 秒	10 秒	20 秒	200 件	400 件	600 件	1,200 件	6,000 件
32K				400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
64K	12 秒	8 秒	20 秒	200 件	400 件	600 件	1,200 件	6,000 件
32K				400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
32K	15 秒	5 秒	20 秒	400 件	800 件	1,200 件	2,400 件	12,000 件
16K				800 件	1,600 件	2,400 件	4,800 件	24,000 件
32K	18 秒	12 秒	30 秒	270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K				540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件
32K	20 秒	10 秒	30 秒	270 件	540 件	810 件	1,620 件	8,100 件
16K				540 件	1,080 件	1,620 件	3,240 件	16,200 件

録画時間（常時録画の場合）

SD カード容量 8GB					
画質設定	30 コマ / 秒	15 コマ / 秒	10 コマ / 秒	5 コマ / 秒	1 コマ / 秒
64K	1 時間	2 時間	3 時間	6 時間	30 時間
32K	2 時間	4 時間	6 時間	12 時間	60 時間
16K	4 時間	8 時間	12 時間	24 時間	120 時間
画質設定	2 コマ / 分	1 コマ / 分	12 コマ / 時	6 コマ / 時	
64K	900 時間	1,800 時間	9,000 時間	18,000 時間	
32K	1,800 時間	3,600 時間	18,000 時間	36,000 時間	
16K	3,600 時間	7,200 時間	36,000 時間	72,000 時間	

※ 上表は目安で、絶対保障値ではありません。
※ 被写体や周囲環境などの要因により、記録可能時間と件数は変化します。

アフターサービスについて

- 保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
 - 保証期間
お買い上げの日から1年間です。
 - 対象部分機器
本体（消耗部品は除く）
 - 修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居で贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
 - 保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。
 - 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルで相談窓口

- お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。
- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
 - 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
 - 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター  0120-998-036

その他

その他

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

[illegible]